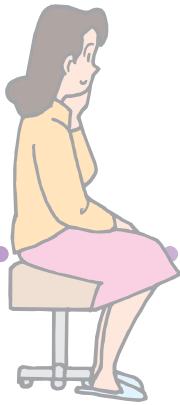


Q&A 先生教えて!



気になるメディカル



「脳卒中センター」は どんな時に受診すればいい?

回答:脳卒中センター 医師 山岡 由美子

患者: どんな症状が出たら、脳卒中を疑うべきでしょうか?

医師: 脳卒中とは、脳の血管が詰まったり破れたりすることにより、脳の一部の働きが突然悪くなったり、意識を失って倒れたりする病気の総称です。片側の手や足の動きが悪くなる、片側の口のまわりや手足がびりびりしびれる、ろれつが回らない、言葉を発せられない、ふらふらして立てない、視界の一部が欠ける、物がダブって見える、吐き気やめまいを伴う激しい頭痛、意識消失などの症状が、突然出現したり、朝起きたら出現していた場合は、脳卒中の可能性あります。

患者: すぐ受診した方がいいのですか?

医師: 自宅の様子を見ずに、すぐに脳卒中センターに連絡し、すみやかに受診してください。症状が数分で消失してしまった場合でも、脳梗塞の前兆である一過性脳虚血発作であることがあるので、すぐに連絡してください。脳卒中かその他の病気を診断し、脳卒中であった場合は速やかに治療を開始します。早期にリハビリを始めることで、症状の悪化をくい止め、後遺症の軽減をはかります。

患者: 脳卒中センターは他にどんなことをしていますか?

医師: 患者さんごとに異なる脳卒中を起こしやすい(起こした)要因を治療し、病態にあった薬を選択し、地域の先生方とも連携しながら、脳卒中を起こさない(再発させない)ようにすることが、最も重要であると考えて実践しています。



リハビリテーションについて 知りたい

回答:理学療法士 澤田 義則

患者: そもそも「リハビリテーション」という言葉の意味は?

医師: リハビリテーションには、社会復帰という意味があります。医学的には、病気や傷害によって生じた障害を軽くし、社会復帰を促すという意味です。病院では、一般的に障害を軽減し、家庭復帰・職場復帰を促す診療をいいます。

患者: リハビリテーション科には、どんな治療があるのですか?

医師: 身体の運動障害には、運動療法を中心とした理学療法士が、日常生活での応用動作の障害には作業療法士が、言語障害(コミュニケーションの障害)や嚥下障害(飲み込みの障害)には言語聴覚士が、それぞれの専門性を活かし治療を担当します。

患者: 関東病院のリハビリテーション科の特色を教えてください。

医師: 最先端医療と急性期医療が特色の当院では、脳卒中センターとは毎朝、主治医との情報交換を密に行い、超早期のリハビリ開始に努めています。整形外科では、手術された患者さんには翌日からのリハビリ開始が当たり前になっています。

患者: 早期リハビリはなぜ必要なんですか?

医師: 術後の安静や治療のために運動できない状態が長引くと、心身ともに衰えていくという廃用症候群が起きてしまいます。その解決には一日も早いリハビリ開始が有効なのです。私たちは、緩和ケア科をはじめ診療全科からの廃用症候群の治療依頼に積極的に取り組んでいます。